

塔の島の隣接で「仮設締切堤防」が崩壊 宇治川の工事で重大事故 共産党議員団が国土交通省に対策を要請



2月26日に発生した宇治川塔の島地区の河道掘削工事における仮設締切堤の土嚢転倒・流出事故は、河川行政の安全についての信頼を喪失する重大な事故です。

宇治川の流速判断など、そもそもの設計が間違っていた可能性や、施工・監理にミスがあった可能性もあることから、徹底した検証が必要です。

また、観光地のだ真ん中であり、観光シーズンにまでずれ込んでいるもとの、観光への影響を最小限に食い止めるよう、早期撤去と今後の見直しが大切です。

3月16日、宇治市議員団は穀田恵二衆議院議員(秘書)、前窪義由紀府議らと国土交通省に対策を申し入れし、交渉しました。

**国土交通省が
共産党に回答**

事故原因を子細に分析し、 二度と事故がないようにしたい。

淀川河川事務所の服部龍雄副所長は「観光地でこんな事故を起こし、関係者の皆さんにご迷惑をかけ、深く反省している」と市民に謝罪し、「事故原因については、施行計画書などを子細に分析し、地元や宇治市・議会にも報告し、二度とこのようなことが無いようにしたい」と回答しました。



また、仮設締切堤の崩壊の原因について「締切堤が外力(流速や水圧)に耐えられなかったことも検証したい」「(設計・施行な

ど)4月中旬ごろまでに、原因をハッキリさせ、関係者に報告し、理解を求めたい」と話しました。

**国土交通省が
共産党に回答**

観光への影響最小限に GWまでに崩壊した堤防を撤去したい。

崩壊した堤防の撤去工事は、24日から着手し、「さくらまつりや日曜には作業せず観光事業者に迷惑をかけず、ゴールデンウィークまでに終了したい」と約束しました。

申入れ内容

- 1、工事計画・設計、および、施行計画・施行のどこに原因があったのかなど、事故の経緯を明らかにすること
- 2、入札仕様書、施行計画書などを開示した上で、事故の経緯と責任を明らかにすること
- 3、原因と対応を関係機関、市民・関係者に説明し、理解を得るまで河道掘削工事を中止すること
- 4、宇治川改修計画を全面的に見直すこと
- 5、観光時期に支障が出ないように、早期撤去など万全を期すこと

宇治川堤防は砂で造られたもので、長時間水に浸れば決壊の危険。今すぐめられている堤防改修(淀川水系河川整備計画)は「(決壊時の)避難時間の確保」が目標。長時間大量に流す毎秒1500トン放流計画は大問題。そのため430億円も使って、天ヶ瀬ダムの横に巨大トンネルを造る再開発は無駄で危険な工事。これを政府や府が推進。計画は見直し、止めるべきです。

日本共産党
宇治市議員団
だより 2010.03
電話 0774-22-3141(市役所代表)
(内線2817 市議団控室)
FAX 0774-24-7884

